小木の子

富士第二小学校
学校だより
令和５年１月25日

まとめ、つなげる３か月です

「一月は往ぬる（行く）　二月は逃げる　三月は去る」と言われるように、早いもので１月ももう下旬になりました。冬休み後の登校日数は５１日です。始まってもう１０日以上経っているので、残りの日数は４０日を切っています。本当に月日の経つのは早いものだと実感しています。１月からは第４ステージ「つなげよう」が始まります。冬休み明けの朝礼では、子供たちに次のように話しました。

この第４ステージは、とても大切なときです。それは、ステージの名前の通り、次の学年につなげていくための力を、しっかりと身に付けるときだからです。６年生にとっては、中学校へつながる、とても大切な時期です。その中でがんばってほしいことを話します。

それは、昨年も話しましたが「当たり前のことを当たり前にする」ことです。

まずはあいさつです。誰かに会ったときに、自然にあいさつができること、これは当たり前のことですが、人と人が一緒に生活をする中でとても大切なことです。上手なあいさつができると、自分も相手も気持ちがいいですね。他にも、くつのかかとを踏まないこと、はきものをそろえること、ごみを落とさないこと、などが当たり前にできるようになるとよいです。また、学校目標の、あたたかい声を掛けることや、友達が困っていたら助けることなども、当たり前に、学校中のあちらこちらから聞こえてきたり、見られたりするとうれしいです。

最初は、ちょっと意識をしてやってみましょう。そのうちに自然にできるようになります。ぜひ、当たり前のことを当たり前にできるようにして、次の学年につなげる第４ステージにしましょう。

当たり前のことでも、意外と意識しないとできないこともあります。意識した行いをやり続けているうちに、それが習慣化して、自然にできるようになることもあります。そして、そういった行動の変化は、少なからずその人の心や態度にも良い影響を及ぼし、時には人生まで変えていくこともあります。

学校ホームページについて

外部からの攻撃を防ぐために市全体のシステム変更が行われました。それにより、過去の記事が閲覧できなくなり、新しい記事の掲載も難しくなっています。ご迷惑をお掛けしていますが、ご理解とご協力をお願いします。

あらわれについて

７月の学校だよりでもふれましたが、本年度のあらわれについてお知らせします。昨年度までは、年度末にお渡しするあらわれは、前期でのお子様のあらわれを含めず、１０月からの後期のあらわれのみを評価して記載していました。今年度からは、年度末にお渡しするあらわれは、現在の学年１年間を通した「年間」の評価を記載することになりました。これは富士市内すべての小学校で統一して行われます。顕著なあらわれについては、今まで同様に文章でお伝えします。